

特別版

できる アイビス

iVlS HF S11

撮影&映像編集
スタートガイド

清水理史 & できるシリーズ編集部



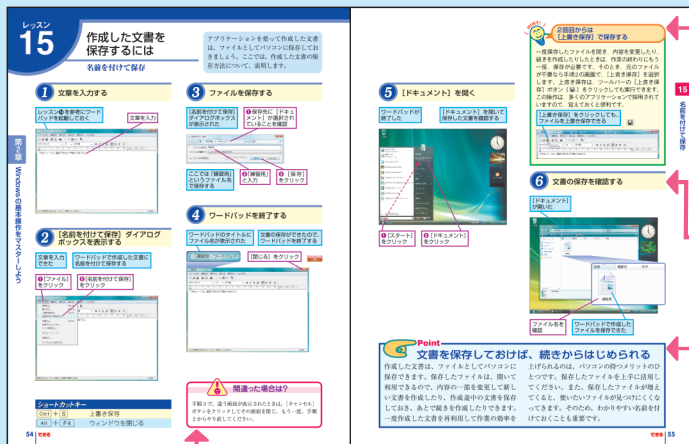
インプレスジャパン

本書の読み方

レッスン

見開き2ページを基本に、**●やりたいことが見つけやすいタイトル**
「○○するには」や「○○ってなに？」など、「やりたいこと」や「知りたいこと」がすぐに見つけられるタイトルがついています。

●機能名で引けるサブタイトル
「あの機能を使うにはどうするんだっけ？」そんな時に便利。機能名やサービス名などで調べやすくなっています。



HINT!

レッスンに関連した、さまざまな機能を紹介したり、一歩進んだ使いこなしのテクニックまで解説します。

右ページのつめでは、知りたい機能がページが探せます。

手順

必要な手順を、すべての画面とすべての操作を掲載して解説します。

Point

操作の要点をていねいに解説。レッスンで解説している内容をより深く理解することで、確実に使いこなせるようになります。

※ここで紹介している画面はイメージです。本書の内容と異なります。

間違った場合は？

手順の画面と違う時にはまずここ。
操作を間違った場合の対処法を解説してあるので安心です。

●用語の使い方

本文中では「iVIS HF S11」のことを「アイビス」または「iVIS」、「ImageMixer 3 SE Ver.5」のことを「ImageMixer 3 SE」と記述しています。また、本文中で使用している用語は、基本的に実際の画面に表示される名称に則っています。

●本書の前提

本書の各レッスンは、キャノン株式会社製のハイビジョンビデオカメラ「iVIS HF S11」を前提に画面を再現しています。また、本書では、Windows Vista Home PremiumにImage Mixer 3 SEをインストールした環境をもとに画面を再現しています。DVD-R、DVD-RW、DVD-R DL、BD-R、BD-R DL、BD-RE、BD-RE DLへの書き込みに対応したパソコンを使用しています。

●本書に掲載されている情報について

本書に掲載されている情報は、2009年7月現在のものです。本書の発行後に、情報が変更されることもあります。

「できる」、「できるシリーズ」は、株式会社インプレスジャパンの登録商標です。

アイビス、iVISは、キャノン株式会社の商標です。

ImageMixerは、株式会社ピクセラの商標です。

iPod、iTunesはApple Inc.の商標です。

Microsoft、Windows、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの登録商標または商標です。

Blu-rayはBlu-ray Disc Associationの商標です。

その他、本文中の製品名およびサービス名は、一般に各開発メーカーおよびサービス提供元の商標または登録商標です。

なお、本文中には™および®マークは明記していません。

Copyright © 2009 Masashi Shimizu and Impress Japan Corporation. All rights reserved.

本書の内容はすべて、著作権法によって保護されています。著者および発行者の許可を得ず、転載、複写、複製等の利用はできません。

まえがき

849万画素の新開発HD CMOSを搭載し、ハイビジョンによる美しい映像、高性能デジタルカメラにも劣らぬ高品質な静止画の撮影を楽しめるキヤノンの「アイビス HF S11」。本書は、このようなHF S11の便利な機能を中心に、その使い方を丁寧に解説した小冊子です。

アイビス HF S11は、内蔵メモリーとSDメモリーカードのどちらにも映像を記録できる「ダブルメモリー」に対応した機種ですが、これに加えて、被写体の顔を自動的に判断して自動的に追尾する「フェイスキャッチテクノロジー」、映像の撮影中でも同時に静止画を撮影できる「デュアルショット」、撮影した映像をBGMと一緒に再生できる「ビデオスナップ」を搭載し、はじめての人でも手軽に高度な撮影を楽しめるようになっていました。もちろん、映像を編集したり、DVDやブルーレイディスクに保存することも簡単にできます。

本書を通して、読者のみなさんの映像の楽しみ方が少しでも広がれば幸いです。

2009年8月 清水理史

できるアイビス iVIS HF S11 撮影&映像編集スタートガイド

①	アイビスで撮影して楽しむ	＜アイビスの活用シーン＞	2
②	映像を撮影して再生するには	＜映像の撮影、再生＞	4
③	人物の顔にピントを合わせるには	＜フェイスキャッチテクノロジー＞	6
④	映像を録画しながら静止画も撮影するには	＜デュアルショット＞	8
⑤	ビデオスナップで上手に撮影するには	＜ビデオスナップで撮影するコツ＞	10
⑥	撮影した映像からビデオスナップを作るには	＜撮影後のビデオスナップ作成＞	12
⑦	ビデオスナップで撮影した映像にBGMを付けるには	＜BGMを付けた再生＞	14
⑧	アイビスからパソコンに映像を取り込むには	＜ImageMixer 3 ランチャー＞	16
⑨	取り込んだ映像を編集するには	＜ImageMixer 3 Library＞	20
⑩	ハイビジョン画質で書き込む準備をするには	＜Blu-ray作成リスト＞	22
⑪	ハイビジョン画質で書き込むには	＜ブルーレイディスクへの書き込み＞	24
⑫	映像をiPodやブログで楽しむには	＜ファイルの書き出し＞	26
	付録	パソコンを使わずにDVDやブルーレイディスクへ保存するには	28

アイビスで 撮影して楽しもう

アイビスの活用シーン

アイビスをもっと楽しんでみましょう。ここでは映像や静止画を撮影する際の活用方法、撮影した素材をテレビやパソコンで活用するための方法を紹介します。

アイビスでの撮影と再生

●動画の撮影と再生



アイビスで映像を撮影したり、再生したりして楽しんでみましょう。アイビスには「フェイスキャッチテクノロジー」が搭載されていますので、被写体となる人の顔を素早くとらえ、しっかりと追尾することでピントの合ったキレイな映像を撮影できます。

▶▶ レッスン ② ③ 参照

●動画を撮影しながらの静止画の撮影



アイビスは、1台でビデオカメラとしても、デジタルカメラとしても使えます。「デュアルショット」にすれば、ダイヤルを切り替えることなく映像を撮影しながら同時に静止画も撮影できます。映像の撮影中でも601万画素(16:9)の静止画を、一時停止した状態なら高性能デジタルカメラに匹敵する802万画素(4:3)の高画質な静止画を撮影できます。

▶▶ レッスン ④ 参照

●音楽を組み合わせた動画の再生



アイビスの「ビデオスナップ」を使えば、デジカメ感覚で4秒の短い映像を撮影できます。また、再生時に今まで撮りためた映像の中から好きなシーンを4秒の映像として切り出すこともできます。これらの映像に、あとから音声の代わりにBGMを付けて再生すれば、キチンと編集したようなショートムービーが作れます。

▶▶ レッスン ⑤ ⑥ ⑦ 参照



撮影した映像や静止画はどこに保存されるの？

アイビスは、本体に内蔵されたメモリーとスロットに装着したSDメモリーカードの両方に映像や静止画を記録することができるダブルメモリーに対応したデジタルビデオカメラです。標準では撮影した映像や静止画が内蔵メモリーに保存されますが、設定で記録先を変更することでSDメモリーカードに記録することもできます。なお、内蔵メモリーの容量は64GB(MXPモードのハイビジョン映像で約5時間55分記録可能)ですが、SDメモリーカードの容量は装着したカードの種類によって異なります。



パソコンでの活用時は ハードディスクの容量に注意

アイビスで撮影した素材をパソコンで活用するときは、ハードディスクに映像ファイルを保存しておくのに十分な空き容量があるかどうかを確認しておきましょう。ハイビジョンの高画質な映像や長時間の映像を取り込んでいるうちに、パソコンのハードディスクがいっぱいになってしまうこともあります。事前に数十GB～数百GBの空き容量があることを確認しておきましょう。



専用アプリケーションの 最新情報を入手しよう

アイビスでは、パソコンへの映像の取り込みや編集にImageMixer 3 SEというアプリケーションを利用します。このソフトの特徴やアップデート情報などは、以下のホームページで参照できますので、最新情報を確認しておきましょう。

▼株式会社ピクセラ「ImageMixer 3 SE」のページ
<http://www.pixela.co.jp/oem/canon/j/>

アイビスで撮影した素材の活用

●パソコンへの取り込みと編集



パソコンを使えば、映像を編集することも簡単です。付属のアプリケーションを利用することで、映像の取り込みや編集も気軽に楽しめます。

▶▶ レッスン 8 9 参照

●ブルーレイディスクやファイルへの書き出し



付属のアプリケーションで映像のブルーレイディスクへの保存や、別の形式への変換ができます。高画質のままでの保管やほかの人への受け渡し、iPodなどの再生が可能です。

▶▶ レッスン 10 11 12 参照

●DVDライターでのDVDへの保存



撮影した映像をDVDに保存してみましょう。別売りのDVDライターを利用すれば、パソコンを使わなくても、手軽に映像をDVDに書き出せます。

▶▶ 付録参照

●ブルーレイディスクレコーダーへの保存



撮影した映像をブルーレイディスクレコーダーに保存してみましょう。保存した映像はテレビで見たり、ブルーレイディスクに保存したりできます。

▶▶ 付録参照



Point

いろいろな活用方法でアイビスを楽しもう

映像を手間なくきれいに撮影する、撮影した映像をハイビジョンテレビなどで見る、映像を編集したり保存したりする、とアイビスならいろいろな方法で映像を楽しむことができます。フェイスキャッチテクノロジーで誰でもきれいなハイビジョン映像を撮影できたり、映

像と静止画を同時に撮影できたり、写真感覚の短いビデオスナップを楽しめたり、さらにはパソコンを使って映像を編集、保存、変換したりすることもできますので、これまで以上に身近に映像を楽しめます。アイビスをもっと便利に楽しく使いこなしてみましょう。

映像を撮影して再生するには

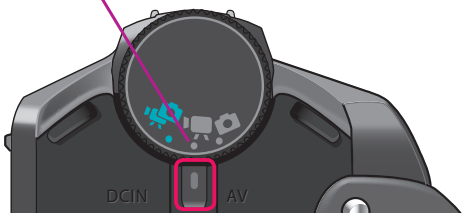
映像の撮影、再生

アイビスの基本的な使い方をマスターしておきましょう。ここでは、電源を入れて、映像を撮影し、それを再生するという一連の流れについて紹介します。

電源を入れて動画を撮影する

1 撮影ダイヤルを動画撮影に合わせる

撮影ダイヤルを (動画撮影) に合わせる



(デュアルショット) に合わせてもよい

2 本体の電源を入れる

動画モードが選択された

1 液晶画面を開く

2 POWER (電源) ボタンを押す



3 撮影を開始する

電源ランプが緑色に点灯し、アイビスの電源がオンになった

1 被写体にアイビスを向ける

2 START/STOP ボタンを押す



撮影中であることを表す赤い丸が表示される

ここにバッテリー残量や撮影可能時間、撮影時間などが表示される

液晶画面に映った映像が記録される



間違った場合は？

手順1で間違ったモードにダイヤルを合わせたまま電源を入れてしまったときは、電源はそのままで、ダイヤルだけを正しいモードに切り替えます。



と (静止画撮影) の違いはなに？

手順1のように、アイビスでは撮影ダイヤルによって3つの撮影モードを選択できるようになっています。手順で紹介している は映像を撮影するためのモードです。通常はこのモードでアイビスを利用します。ただし、映像は緑色の に撮影ダイヤルを合わせることで撮影できます。このモードは、「デュアルショット」と呼ばれ、映像と静止画をモードの切り替えなしで撮影できます（詳しくはレッスン4参照）。 は静止画を撮影するときのモードです。

4 撮影を停止する

もう一度、START/STOPボタンを押すと撮影が終わる

START/STOPボタンを押す



撮影停止中であることを表す緑の丸と2本線が表示される

撮影した映像を再生する

5 インデックス画面を表示する

撮影した映像を確認する



撮る/見るボタンを押す



ジョイスティックはどうやって使うの？

アイビスの液晶画面左側には、「ジョイスティック」と呼ばれる操作スティックが用意されています。中央のスティックを上下左右に押すことで、液晶画面上のメニューや選択肢を選び、真ん中の [SET] を押し込むことで選択を決定するというように使います。頻繁に使うので操作に慣れておきましょう。



すばやく撮影を開始するには

電源を入れた状態のまま液晶画面を閉じると、バッテリーの消費量が約1/3になる省エネ状態でスタンバイし、再び液晶を開くとクイックスタートとなり、すばやく撮影可能な状態になります。撮影と停止を繰り返す場合などは、このような使い方をすると便利でしょう。

6 再生したい映像を選択する

撮影した映像のインデックスが表示された



① ジョイスティックを上下左右に押し、見たい映像にカーソルを合わせる

② 再生/一時停止ボタンを押す

ジョイスティックのSETボタンを押しても再生される

選択した映像が再生される



Point

誰でも手軽に映像を楽しめる

「ビデオ撮影ってなんだか難しそう……」。そう思っている人でもアイビスなら安心です。撮影に必要な操作は、モードを合わせて電源を入れ、液晶を見ながらSTART/STOPボタンを押すだけで、とても簡単です。撮影した映像は内蔵メモリーに保存されますので、撮

影後、インデックス画面から選ぶだけで、その場で見ることができます。もちろん、撮影された映像はハイビジョンとなりますので、高品質の美しい映像を誰でも手軽に撮影できます。アイビスで、いろいろな映像を撮影して楽しんでみましょう。

人物の顔にピントを合わせるには

フェイスキャッチテクノロジー

アイビスなら人物の撮影も簡単です。自動的に顔にピントを合わせるフェイスキャッチテクノロジーによって、人物を主体にした映像をキレイに撮影できます。

いままでは……

運動会などで、人垣をかき分けてやっと撮影できたと思ったら、手前にいた人の頭にピントが合って肝心の子供の姿が映っていなかった……。そんな経験はありませんか？ いままでは撮りたい人物の手前に別のものがあると、そこにピントが合ってしまう人物がぼやけて、うまく撮影できない場合があります。



アイビスでは……

アイビスなら、人物の撮影で悩む必要はありません。「フェイスキャッチテクノロジー」によって、被写体の中から人物の顔を正確に識別。捉えた顔の部分にすばやくピントを合わせ、被写体の動きに合わせて自動的に追尾します。正面だけでなく横顔も追尾できるうえ、自動露出補正によって逆光などでも露出を自動的に補正し、人物をキレイに撮影できます。



人物が横を向いてもピントが合う

人物に自動的にピントを合わせる機能は、ほかのデジタルカメラやデジタルビデオカメラなどにも搭載されていますが、アイビスのフェイスキャッチテクノロジーは横顔も正確に追尾することができるのが特徴です。歩いたり、走ったりする人物をカメラを動かしながら撮影する場合にも、きれいな映像を撮影できます。

間違った場合は？

手順2で間違った人の顔を主顔に設定してしまったときは、もう一度、ジョイスティックの左右ボタンを押して主顔を選択し直します。

1 フェイスキャッチテクノロジーを有効にする

レッスン②を参考に、アイビスを映像が撮影できる状態にしておく



1 ジョイスティックを上に乗す



メニューが表示された

2 ジョイスティックを上下に押し、[フェイスキャッチ]に合わせる

3 ジョイスティックのSETボタンを押す

2 ピントを合わせる人物を選択する

フェイスキャッチテクノロジーが有効になった

人物の顔に枠が表示されている



◆主顔 主顔だけ白い枠が表示される

1 フェイスキャッチテクノロジーがONになったことを確認

ON



2 ジョイスティックを左右に押し、ピントを合わせたい人物の顔に白い枠を移動させる

主顔が変更された



「主顔」ってなに？

たくさんの人が集まったシーンなど、人物の顔が複数ある場合は、その中の主な被写体となる顔が白い枠で、そのほかの顔がグレーの枠で表示されます。このように白い枠で囲まれた主な被写体の顔を「主顔」と呼び、この部分を中心にピントを合わせたり追尾したりします。

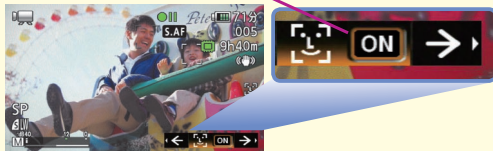


フェイスキャッチテクノロジーを解除するには

フェイスキャッチテクノロジーは、以下のように操作することで解除することもできます。解除すると、人物に関係なく、画面中央付近にある目立つ物（手前にあるものが小さかったり、コントラストが低い場合は背後にある目立つもの）に自動的にピントが合います。

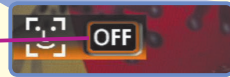
1 フェイスキャッチテクノロジーがONになっていることを確認

2 ジョイスティックのSETボタンを押す



白い枠が消えた

3 フェイスキャッチテクノロジーがOFFになったことを確認



Point

人物の表情を逃さずキレイに撮影

運動会、発表会、パーティなど、せっかくの晴れ舞台なのに、主役がぼやけてうまく撮影できていない……。そんなことにならないために利用したいのが、アイビスのフェイスキャッチテクノロジーです。被写体の中から人物の顔をすばやく見つけ出し、自動的にピントを

合わせ続けることができますので、失敗なく映像を撮影することができます。撮影したい人物を主顔に設定しておけば、その人の動きに合わせて自動的に追尾することもできます。人物を撮影するときは、ぜひ活用してみてください。

映像を録画しながら 静止画も撮影するには

デュアルショット

映像を撮影しながら、同時に静止画も撮影する。アイビスのデュアルショットなら、こんなことも可能です。実際の使い方について見てみましょう。

いままでは……

これまでのデジタルビデオカメラの中にも、静止画も撮影できる機能を搭載した製品はありました。しかし、映像と静止画でいちいちモードを切り替えなければならなかったり、画質が低かったり、いまひとつ納得できる写真が撮影できないことがありました。



アイビスでは……

アイビスなら、映像も静止画もモードを切り替えずに撮影できる「デュアルショット」と呼ばれる機能が利用できます。この機能を利用すれば、映像を撮影している中でも、本体の PHOTO ボタンを押すことで同時に静止画を撮影できます。静止画の画素数は 800 万画素と高画質なのも魅力です。



撮影ダイヤルと録画状態によって 静止画の画素数が異なる

アイビスで撮影できる静止画の画素数は撮影時の状態によって異なります。撮影ダイヤルの位置と動画の撮影中なのか一時停止中なのかによって異なります。詳しくは以下を参考にしてください。

● 静止画の画素数

※すべて最大画素数

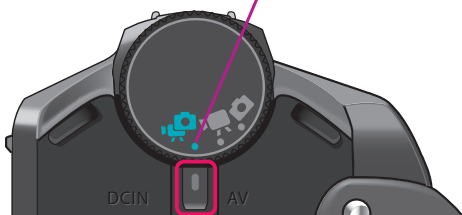
	動画撮影	静止画撮影	デュアルショット
録画時	601 万画素 (16:9)	—	601 万画素 (16:9)
一時停止時	601 万画素 (16:9)	802 万画素 (4:3)	802 万画素 (4:3)

静止画のサイズや画質を 設定することができる

デュアルショットで撮影するときの静止画のサイズや画質は好みによって変更できます。サイズは「LW (3264×1840)」と「MW (1920×1080)」の2種類で、画質は「スーパーファイン」、「ファイン」、「ノーマル」の3種類から選べます。撮影した静止画を大きな用紙にプリントしたり、大画面のテレビなどで見たい場合は大きなサイズで画質も高く設定するとよいでしょう。

1 撮影ダイヤルをデュアルショットに合わせる

撮影ダイヤルをに合わせる



2 撮影を開始する

①POWER（電源）ボタンを押す

②START/STOPボタンを押す



映像の録画が
はじめた

③ 決定的な瞬間に
PHOTOボタンを押す

映像を録画しながら
静止画を撮影できた

細かい設定は自動的
に調整される



間違った場合は？

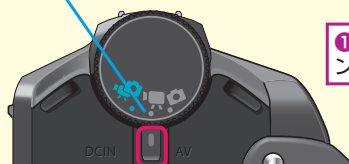
手順1で、間違っただけで映像モードや静止画モードを選んでしまったときは、もう一度、撮影ダイヤルをデュアルショットに設定し直します。



最初にデュアルショットを使うときには

デュアルショットをはじめて利用するときは、映像撮影中の静止画記録を有効に設定する必要があります。以下の手順を参考に、静止画記録を「OFF」から静止画サイズに変更しておきましょう。また、静止画のサイズや画質は、デュアルショットでは設定できません。ただし、事前に動画モードや静止画モードで設定を変更しておくことで、デュアルショットでもその設定が有効になります。

動画撮影モードか静止画撮影モードを選択しておく



①FUNC.ボタンを押す



FUNC.メニュー
が表示された

② ジョイスティックを上
下に押し、[静止画記録切]
にカーソルを合わせる



③ ジョイスティックを
左右に押し、静止画の
サイズを選択する

ここでは [LW]
を選択した

④ ジョイスティック
のSETボタンを押す

⑤ ジョイスティックを左右に
押し、画質を選択する



ここでは [スーパーファ
イン] を選択した

⑥ ジョイスティックの
SETボタンを押す



Point

映像＋静止画で決定的な瞬間も逃さない

思い出のシーンは映像でも欲しいし、静止画でも残しておきたいものです。しかし、1人で2台の機器を使いこなすのは難しいうえ、映像と静止画でいちいちモードを切り替えていたのでは決定的なシーンを撮り逃がしてしまう可能性もあります。そこで活用したいのが、

アイビスのデュアルショットです。ダイヤルを合わせるだけの簡単操作で、映像を撮影しながら、モードを切り替えずに静止画も撮影することができます。全体を映像で記録しながら、ここぞというシーンを静止画で押さえていけば、決定的な瞬間も撮り逃がずに済みます。

ビデオスナップで 上手に撮影するには

ビデオスナップで撮影するコツ

実際にビデオスナップを使ってみましょう。ここではビデオスナップで映像を撮影する方法、そして撮影した映像を見る方法について紹介します。

ビデオスナップで撮影する

1 ビデオスナップで 撮影する準備をする

動画撮影モード
を選択しておく



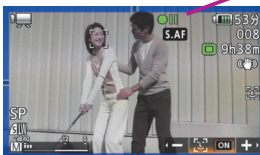
VIDEO SNAP
(ビデオスナップ)
ボタンを押す



2 ビデオスナップで撮影する準備が できたことを確認する

ビデオスナップで撮影
する準備が完了した

液晶画面に青い枠が表
示されたことを確認

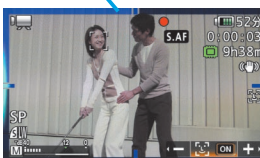


3 撮影をはじめる

START/STOP
ボタンを押す



青い枠が1周する



4秒立つと自動的に撮影が終わる



デジタルカメラ感覚で撮影しよう

ビデオスナップで映像を撮影するときは、映像というよりは、どちらかというと静止画を撮るような感覚で使うのがポイントです。映像の場合、撮る側も撮られる側も身構えてしまいがちですが、普段の日常を切り取るような感覚で、気軽に、そしていくつものシーンをたくさん撮ったほうが、あとから見たときに面白い映像になっています。



青い枠を目安に撮影しよう

ビデオスナップの撮影時間は4秒です。撮影を開始すると、この時間に合わせて、液晶画面の青い枠が周囲を一周します。この動作を目安に撮影するとよいでしょう。

ビデオスナップで撮影した映像を再生する

4 インデックス画面を表示する

ビデオスナップで撮影した映像が保存されている



① 撮る/見るボタンを押す

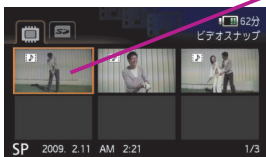


② VIDEO SNAP (ビデオスナップ) ボタンを押す

5 映像を選択する

ビデオスナップで撮影した映像の一覧がインデックス画面で表示された

① ジョイスティックを上下左右に押し、見たい映像にカーソルを合わせる



② ジョイスティックのSETボタンを押す

選択した映像が再生される

選択した映像以降の映像が順番に再生される



通常のモードに戻すには

ビデオスナップから、通常のモードに戻したいときは、手順2でもう一度、VIDEO SNAP (ビデオスナップ) を押します。または、アイビスの電源を入れ直したり、モードを切り替えたりした場合も、ビデオスナップが解除されます。



撮影した映像はどこに保存すればよいの？

ビデオスナップで撮影した映像をBGMと一緒に再生したいときは (詳しくはレッスン7を参照)、撮影した映像をBGMと同じ場所に保存する必要があります。購入時は内蔵メモリーにのみBGMが保存されていますので、ビデオスナップの映像も内蔵メモリーに保存しておきましょう。なお、同梱のCDを利用して、BGMとして使いたい音楽をあらかじめパソコンからSDメモリーカードに保存しておけば、映像をSDメモリーカードに保存してビデオスナップを楽しむこともできます。BGMの再生方法については、レッスン7で解説します。



間違った場合は？

手順4で撮る/見るボタンを押す前にVIDEO SNAP (ビデオスナップ) ボタンを押して撮影モードになってしまったときは、そのままの状態でも撮る/見るボタンを押し、もう一度、VIDEO SNAP (ビデオスナップ) ボタンを押します。



Point

気軽にどんどん撮影しよう

ビデオスナップを楽しむコツは、とにかく「気軽に」使うことです。ビデオスナップは4秒という短い映像なので、映像が1つだけではあまり面白くありません。旅行やイベントなどの長い時間の中から面白いシーンを切り出すような感覚で、気軽にいくつもの映像をどん

どん撮影してみましょう。短いシーンも、たくさん撮影しておけば、あとからまとめて見たときにつながって1つのストーリーができあがります。できあがった映像は、はじめから最後まで流しっぱなしで撮影した映像とは、ひと味違ったものとして楽しむことができます。

撮影した映像からビデオスナップを作るには

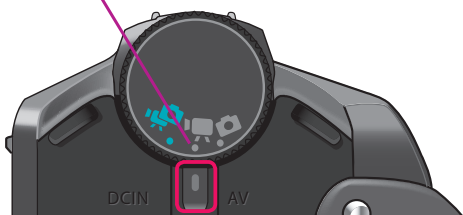
撮影後のビデオスナップ作成

アイビスで撮影した映像の中から好きなシーンを抜き出してビデオスナップを作ってみましょう。4秒間の短い映像を手軽に作ることができます。

電源を入れて動画を再生する

1 撮影ダイヤルを動画撮影に合わせる

撮影ダイヤルを (動画撮影) に合わせる



(デュアルショット) に合わせてもよい

3 インデックス画面を表示する

撮影した映像を確認する



撮る/見るボタンを押す

2 本体の電源を入れる

動画モードが
選択された

① 液晶画面
を開く

② POWER (電源)
ボタンを押す



4 再生したい映像を選択する

撮影した映像のインデックスが
表示された

① ジョイスティックを上下左右に押し、
見たい映像にカーソルを合わせる



② 再生/一時停止
ボタンを押す

ジョイスティックのSETボタン
を押しても再生される

選択した映像が
再生される

ビデオスナップを作る

5 コピーをはじめる

映像の目的の部分まで再生する

START/STOP
ボタンを押す

青い枠が1周する

4秒立つと自動的にコピー
が終わり、一時停止になる

6 コピーを終了する



停止ボタンを押す

一時停止が解除され、映像の
インデックスが表示される

間違った場合は？

手順5で取り出したいシーンが過ぎてしまったときは、映像を巻き戻してから、もう一度、ビデオスナップを作成します。

Point

ビデオスナップで新しい楽しみ方をはじめよう

ビデオスナップは、撮影した映像の中から、4秒間という短いシーンを取り出して保存できます。4秒では短すぎると思えるかもしれませんが、旅行中に撮影したワンシーン、人物の一言コメント、イベントでのクライマックスシーンやハプニングなど、決定的なシー



音楽を付けることもできる

作成したビデオスナップは、映像の音声をそのまま残すこともできますし、音楽をBGMとして設定することもできます。あらかじめアイビスに登録されている音楽や付属の音楽データディスクから転送した音楽などを設定できますので、映像に合ったBGMを設定してみましょう。BGMの設定については、レッスン7を参照してください。



ビデオスナップはほかの人に渡せるの？

作成したビデオスナップは、アイビスに保存されている音楽（BGM）と映像を組み合わせて再生する機能です。このため、映像だけをアイビスから取り出しても、BGMは取り出されないため、撮影時の音声のみの映像となってしまいます。BGM付きのビデオスナップをほかの人に渡したいときは、アイビスで見てもらうか、パソコンで映像にBGMを付けて編集し直してから渡す必要があります。



同じファイルから複数のスナップファイルを作る

ビデオスナップは、再生している映像からいくつも作成することができます。お気に入りのシーンが再生された時点で、手順5の操作を何度も繰り返すことで、たくさんのシーンをビデオスナップとして取り出すことができます。

ビデオスナップで撮影した映像にBGMを付けるには

BGMを付けた再生

ビデオスナップにBGMを付けてみましょう。アイビスに登録されている音楽と一緒に映像を再生することで、よりビデオスナップを楽しめます。

1 BGMを選択する

レッスン⑤の手順4～5を参考に、撮影したビデオスナップのインデックス画面を表示しておく



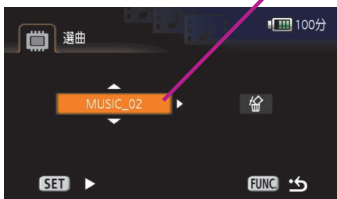
1 FUNC.ボタンを押す

2 ジョイスティックを上下左右に押し、[選曲]に合わせる



3 ジョイスティックのSETボタンを押す

4 ジョイスティックの上下で音楽を選択する



ジョイスティックのSETボタンを押すと音楽を再生することができる

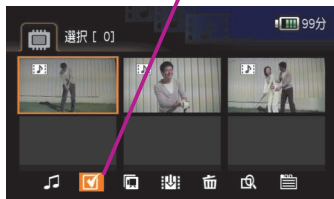
5 FUNC.ボタンを押す



2 BGMを付けて再生する映像を選択する

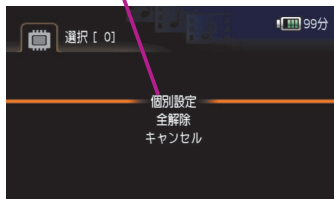
音楽が選択された

1 ジョイスティックを左右に押し、[選択]に合わせる



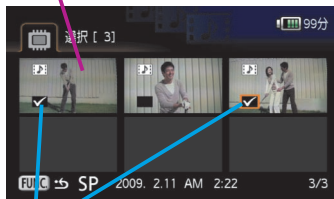
2 ジョイスティックを上下に押し、[個別設定]に合わせる

3 ジョイスティックのSETボタンを押す



4 ジョイスティックを上下左右に押し、再生したい映像に合わせる

5 ジョイスティックのSETボタンを押す



同様の操作で複数のファイルを選択することができる

6 FUNC.ボタンを押す



映像に好きなBGMを付けるには

BGMとして設定できる音楽は、標準でアイビスの内蔵メモリーに登録されている音楽ではありません。アイビスは、16bit、48kHzのWAVE形式の音楽ファイルに対応していますので、同梱の音楽データディスクに収録されている音楽、さらには付属の転送ソフトを使って変換した市販の音楽CDの音楽も利用することができます。



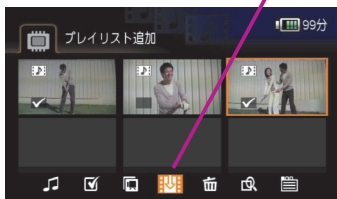
間違った場合は？

間違っって違う音楽を設定してしまったときは、手順1に戻って、もう一度、音楽を選び直します。

3 映像をプレイリストに追加する

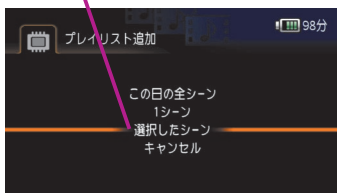
再生する映像
が選択された

1 ジョイスティックを左右
に押し、[プレイリスト追加]
に合わせる



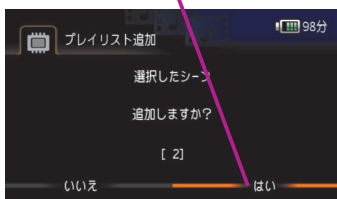
2 ジョイスティックを上
下に押し、[選択したシーン]
に合わせる

3 ジョイスティックのSETボタ
ンを押す



4 ジョイスティックを
左右に押し、[はい] に
合わせる

5 ジョイスティックのSETボタ
ンを押す



6 しばらく待つ



静止画でスライドショーを作ること
もできる

ここでは素材として映像を利用していますが、同様に撮影した静止画をプレイリストに追加すれば、音楽と一緒に静止画が次々と表示されるスライドショーを作成することもできます。

4 BGMを付けて映像を再生する

プレイリストに映像
が追加された



1 PLAYLIST
ボタンを押す

プレイリストに追加した
映像だけが表示された



2 再生/一時停止
ボタンを押す

BGMを付けた映
像が再生された

7

BGMを付けた再生



Point

イメージビデオのように楽しめる

ビデオスナップで撮影した映像は、一つひとつは短い映像でしかありません。しかし、このレッスンで紹介したように、複数の映像をまとめ、しかもBGMを追加することによって、連続したストーリーとして楽しめるようになります。撮影した映像に合わせて、楽しい音楽

や雰囲気のある音楽などを選べば、まるでイメージビデオやプロモーションビデオのように映像を楽しめます。同じイベントや同じ日に撮影した映像でも楽しめますが、成長記録などのように同じテーマで時間軸が違う映像を集めても面白いでしょう。

アイビスからパソコンに映像を取り込むには

ImageMixer 3 ランチャー

アイビスの映像をパソコンを使ってさらに活用してみましょう。まずは、アイビスとパソコンを接続して、撮影した映像をパソコンへと取り込みます。

アイビスから映像をパソコンに取り込むには

アイビスで撮影したハイビジョン映像をパソコンに取り込むには、「ImageMixer 3 SE」というソフトウェアを利用します。アイビスに付属しているCD-ROMに収録されていますので、あらかじめパソコンにインストールしておきましょう。

1 ImageMixer 3 SE Camera Monitorを確認する

あらかじめアイビスに付属している「PIXELA ImageMixer 3 SE」CD-ROMから「Image Mixer 3 SE」をインストールしておく



通知領域に「ImageMixer 3 SE Camera Monitor」アイコンが表示されていることを確認

2 アイビスとコンパクトパワーアダプターを接続する

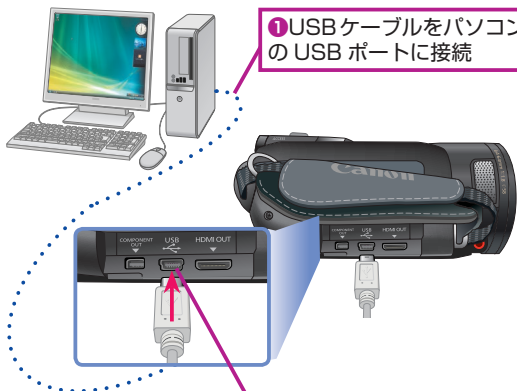
1 電源コードとコンパクトパワーアダプターを接続

2 電源コードをコンセントに接続

3 コンパクトパワーアダプターをアイビスのDC IN端子に接続

3 アイビスとパソコンを接続する

1 USBケーブルをパソコンのUSBポートに接続



2 アイビスのUSB端子に、DVDライターと接続したUSBケーブルを接続

4 アイビスの電源をオンにする

1 POWER（電源）スイッチを押す



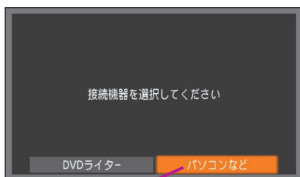
POWERランプが緑色に点灯し、アイビスの電源がオンになった

2 撮る/見るボタンを押す

注意 ImageMixer 3 SEは、Mac OS、Windows 2000 64bit版、Windows XP SP1/SP2/SP3それぞれの64bit版、Windows Vista 64bit版には対応していません。対応OSについての詳しい情報は製品マニュアルで確認してください。

5 パソコンを選択する

アイビスの液晶画面に接続機器を選択する画面が表示された

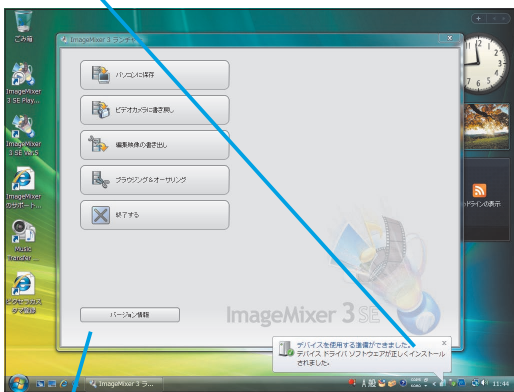


① ジョイスティックの左右で「パソコンなど」を選択

② ジョイスティックのSETボタンを押す

6 ImageMixer 3 ランチャーが表示された

しばらくするとバルーンが表示され、アイビスが認識された



パソコンにアイビスが接続されると、自動的に「ImageMixer 3 ランチャー」が表示される

◆ ImageMixer 3 ランチャー
ImageMixer 3 の持つ機能をかんたんに起動することができる

注意 手順6で「自動再生」ダイアログボックスが表示されたときは、「閉じる」をクリックして、ダイアログボックスを閉じ、手順を続けます。



間違った場合は？

手順6でImageMixer 3 ランチャーが自動的に起動しなかったときは、アイビスがパソコンにきちんと接続されているか、電源がオンになっているかを確認して手順をやり直します。



ImageMixer 3 SEのインストールは2枚のCD-ROMで行なう

Image Mixer 3は、Disc1とDisc2の2枚のCDで提供されています。Disc1には基本機能、Disc2には高度な機能と、機能ごとに分けて収録されており、パソコンへの取り込みやBGMの転送、アイビスへの映像の書き戻しだけであればDisc1のみの機能で利用できますが、そのほかの機能を利用するにはDisc2も必要になります。本書のレッスン①以降の操作をするには、すべての機能を利用できるようにしておく必要がありますので、Disc1とDisc2の両方をインストールしておきましょう。

7 映像をパソコンに保存する

ここではアイビスで撮影した映像をパソコンに保存する



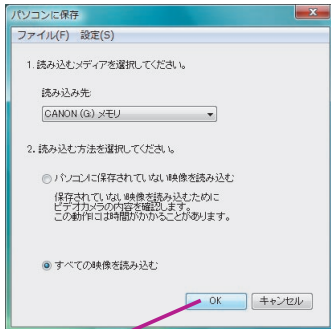
「パソコンに保存」をクリック

各項目にマウスポインタを合わせると、ここにかんたんな説明が表示される

次のページに続く

8 映像の取り込みを開始する

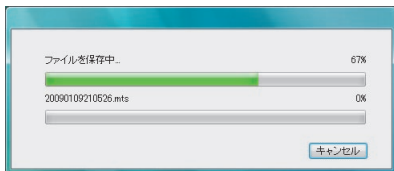
[パソコンに保存] ダイアログボックスが表示された



[OK] をクリック

映像の取り込みが
はじまった

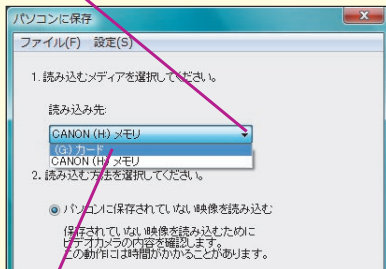
取り込みが完了するまで
しばらく待つ



SDメモリーカードに保存された
映像を取り込むには

アイビスでは、本体の内蔵メモリーとSDメモリーカードの両方に映像を記録することができます。このうち、SDメモリーカードに保存された映像を取り込みたいときは、手順8で画面左上にある「読み込み先」の [] をクリックして、映像の保存元を切り替えます。

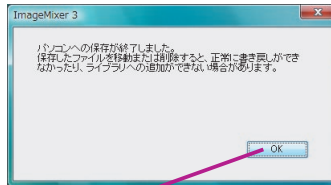
①ここをクリック



② [カード] をクリック

9 映像の取り込みが完了した

[ファイルの保存が終了しました] と表示され、取り込みが完了した



[OK] をクリック

10 ImageMixer 3 ランチャーを終了する

[ImageMixer 3 ランチャー] が表示される

[閉じる] を
クリック



11 アイビスを安全に取り外せるようにする

[ImageMixer 3 ランチャー] が閉じ、デスクトップが表示された

アイビスをパソコンから取り外せるようにする

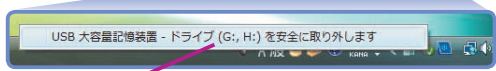


① [ハードウェアの安全な取り外し] をクリック



② [USB 大容量記憶装置 - ドライブ (G:, H:) を安全に取り外します] をクリック

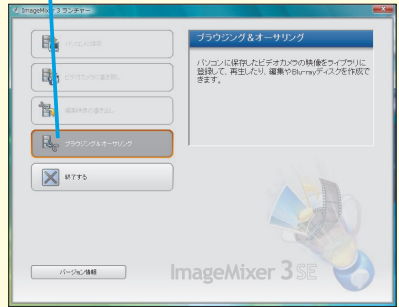
パソコンによって表示される内容が異なる



続けて映像の編集をはじめするには

映像を取り込んだあとに、すぐ映像の編集をはじめたいときは、手順 10 で [閉じる] をクリックせず、[ブラウジング & オーサリング] をクリックしましょう。映像編集についてはレッスン①で紹介しているので、そのまま手順を進めましょう。

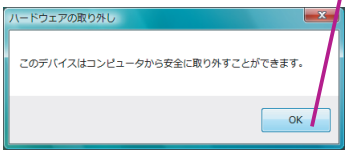
手順 10 でこのボタンを押すと、映像の編集を開始することができます



12 アイビスを取り外せるようになった

[ハードウェアの取り外し] が表示された

[OK] をクリック



アイビスを USB ケーブルから取り外しておく



Point

接続するだけでかんたんに映像を取り込める

アイビスで撮影した映像は、かんたんにパソコンに取り込むことができます。アイビスとパソコンをUSBケーブルで接続し、アイビスの電源を入れれば、ImageMixer 3 ランチャーが起動します。「パソコンに保存」を選択すれば、映像がパソコンのハードディスクに保存され

ます。このように、パソコンでの作業は、すべてImageMixer 3 ランチャーが起点となります。取り込みや編集、書き出しなど、すべての操作をここから開始する入り口となりますので、使い方をしっかりと覚えておきましょう。

取り込んだ映像を編集するには

ImageMixer 3 Library

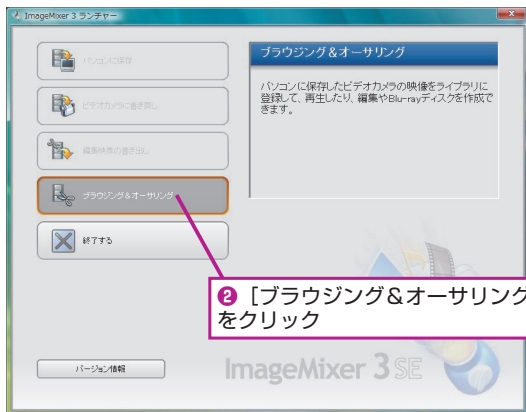
パソコンに取り込んだ映像は、[ImageMixer 3 Library] で管理します。まずは取り込んだ映像を確認し、そこから次のステップの編集へと移りましょう。

1 ImageMixer 3 Libraryを起動する

Disc1とDisc2の両方でImageMixer 3 SEをインストールしておく

① [スタート] - [すべてのプログラム] - [PIXELA] - [ImageMixer 3 SE]の順にクリック

[ImageMixer 3 ランチャー]が表示された



② [ブラウジング&オーサリング]をクリック

2 映像の編集を開始する

[ImageMixer 3 Library]が表示された

レッスン⑧で取り込んだ映像が表示された



[動画編集]をクリック

3 プロジェクトを新規作成する

[動画編集]が表示された

プロジェクトを新規作成するかどうかを選択する



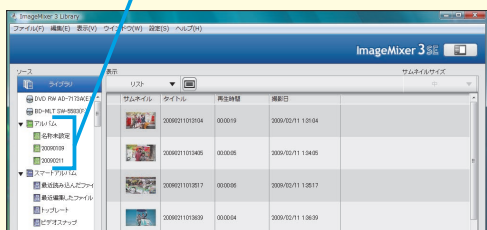
[新規に動画を編集する]をクリック



読み込まれた映像はアルバムに自動的に登録される

アイビスからパソコンに取り込んだ映像は、撮影された日付ごとに「アルバム」という形でひとまとめに管理されます。このため、以前に取り込んだ映像も、日付のついたアルバムをクリックすることで手軽に参照できます。

取り込まれた映像は撮影日ごとに [アルバム] という単位でまとめられる



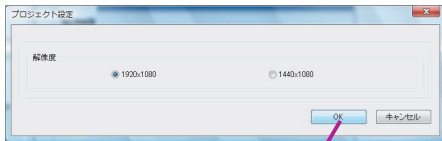
間違った場合は？

手順3で [プロジェクトを読み込んで動画を編集する] をクリックしてしまったときは、表示された画面で [キャンセル] をクリックし、操作をやり直します。

4 プロジェクトの設定を選択する

[プロジェクト設定] が表示された

映像の形式や解像度を選択する



ここでは特ににも設定しない

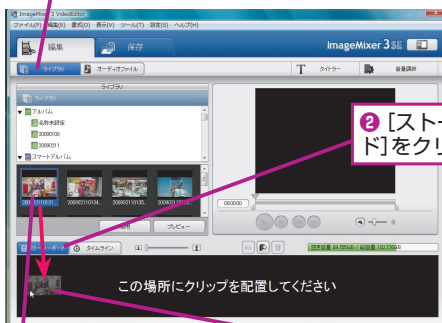
[OK]をクリック

5 映像の編集画面が表示された

[ImageMixer 3 VideoEditor] が表示された

1 [ライブラリ] をクリック

[ライブラリ] には取り込んだ映像が表示される



2 [ストーリーボード] をクリック

3 編集したい映像にマウスポインタを合わせる

4 選択した映像をここまでドラッグ

クリップの形式が異なると表示された場合は[はい]をクリックする



読み込まれた映像を条件ごとに
かんたんに集められる

ImageMixer 3 Libraryのスマートアルバムという機能を利用すると、設定した条件に従ってかんたんに映像を集めることができます。「運動会」や「入学式」など、タイトルやその他の条件で映像を分類したいときなどに利用すると便利でしょう。

[ImageMixer 3 Library]を表示しておく

1 [ファイル] をクリック



2 [新規スマートアルバム] をクリック

映像をスマートアルバムに登録するための条件を設定する画面が表示される

6 気に入った場面の始点と終点を指定する

必要な場面の始点と終点をイン点スライダーとアウト点スライダーでそれぞれ調節する

◆イン点スライダー

◆アウト点スライダー



1 必要な場面の始点までイン点スライダーをドラッグ

2 同様に必要な場面の終点までアウト点スライダーをドラッグする

編集が終了したら [ファイル] - [プロジェクトを保存する] で編集内容を保存しておく



Point

取り込んだ映像をアルバムとして管理できる

通常、たくさんの映像をパソコンに取り込んでいくと、見たい映像がどこにあるのかわからなくなってしまうことがあります。ImageMixer 3 SEなら映像の管理もかんたんです。取り込んだ映像はImageMixer 3 Libraryに日付ごとのアルバムとして登録されるうえ、ス

スマートアルバムで条件ごとに分類できますので、見たい映像を手軽に探すことができます。ImageMixer 3 Libraryは、映像を管理するだけでなく、編集作業の開始をするためにも利用します。画面の構成や使い方を確認しておきましょう。

ハイビジョン画質で 書き込む準備をするには

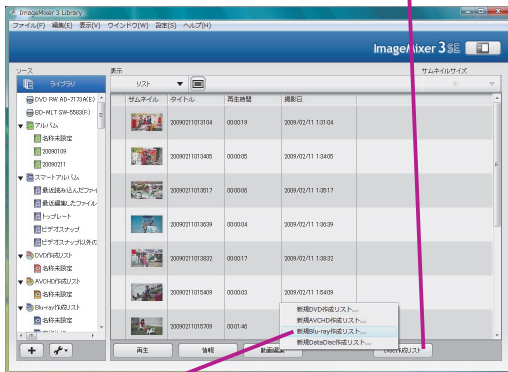
Blu-ray作成リスト

編集した映像をブルーレイディスクに保存してみましょう。まずは、書き込み前の準備として保存したい映像の「Blu-ray作成リスト」を作ります。

1 Blu-ray作成リストを 新規作成する

レッスン⑨を参考に
[ImageMixer 3 Library]
を表示しておく

① [Disc作
成リスト] を
クリック



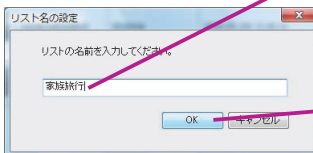
② [新規Blu-ray作成リスト]
をクリック

注意 映像をブルーレイディスクに保存する
ためには、ブルーレイディスクの書き込
みに対応したドライブが必要となります

2 Blu-ray作成リストの 名前を入力する

[リストの設定]ダイア
ログボックスが表示された

① Blu-ray作成リス
トの名前を入力

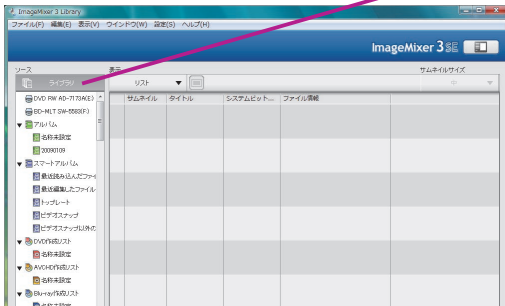


② [OK]をクリック

3 ライブラリを表示する

ブルーレイディスクに保存する
映像をライブラリから選択する

[ライブラリ] を
クリック



ハイビジョン画質のまま
DVDに保存するには

アイビスで撮影した映像をハイビジョン画質のままDVDに保存する方法は2種類あります。1つはAVCHD形式でDVDに保存する方法です。この場合、AVCHD規格に対応したDVDプレーヤーで再生することができますが、MXPモード(24Mbps)で撮影した映像の画質はFXPモード(17Mbps)相当に変換されます。もう1つは、[新規DataDisc作成リスト]を選択して、撮影した映像をデータとして保存する方法です。再生環境はパソコンのみに限られますが、MXPモードの画質はそのままにDVDに映像を保存できます。また、DataDiscを再度読み込んで編集することも可能です。



間違った場合は?

間違った映像を追加してしまったときは、手順4でその映像を右クリックし「削除」を選んでリストから削除します。



「作成リスト」ってなに?

作成リストとは、ブルーレイディスクに保存する映像を管理するために利用する、文字どおりのリストです。ブルーレイディスクに書き込む映像を一覧形式で管理することで、複数の映像を保存するときなどに、その順番などを設定できます。



一般的なDVDプレーヤーで再生できる形式でDVDに保存するには

一般的なDVDプレーヤーで再生できる形式で映像を保存したいときは、手順1で[新規DVD作成リスト]を選んで操作を進めます。ただし、この場合、ハイビジョンの映像はDVDビデオの画質に変換されます。

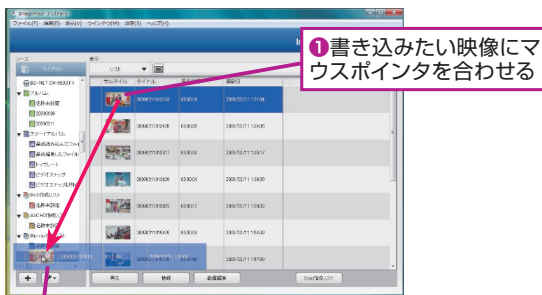


AVCHD規格のDVDを作成するには

ハイビジョン画質を保ったまま映像をDVDに保存したいときは、「AVCHD」と呼ばれる規格でDVDを作成します。手順1で[新規AVCHD作成リスト]を選んで作業を行ないましょう。AVCHD規格のDVDを再生するにはAVCHDの再生に対応した機器が必要です。

4 Blu-ray 作成リストに映像を追加する

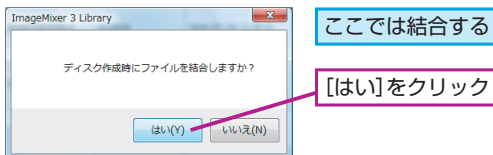
ブルーレイディスクに書き込みたい映像をBlu-ray作成リストに追加する



手順2で作成したBlu-ray作成リストにドラッグ

5 ファイルを結合するかどうかを選択する

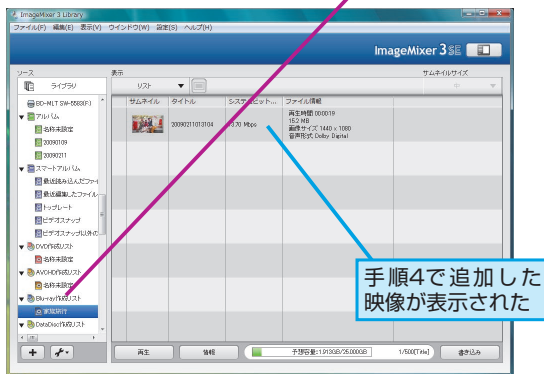
ディスク作成時のファイルの結合を確認するダイアログボックスが表示された



6 Blu-ray作成リストに映像を追加できた

Blu-ray作成リストに映像が追加できたかどうかを確認する

Blu-ray作成リストをクリック



ほかにも追加したい映像が複数ある場合は、手順3～5をくり返す



Point

最高画質でブルーレイディスクに保存しよう

アイビスで撮影した映像をディスクに保存したいときはブルーレイディスクを使うのがもっともおすすめです。もっとも高い画質のMXPモードで撮影した映像は、AVCHD規格でDVDに保存すると画質がFXPモード相当に変換されてしまいますが、ブルーレイディスクな

ら画質を変換せずにそのまま保存できます。オリジナルの画質のまま保存でき、見るときも非常に鮮明な映像を楽しめます。ブルーレイディスクに映像を保存するには、手順1で[新規Blu-ray作成リスト]を選ぶ必要があります。間違えないようにしましょう。

ハイビジョン画質で 書き込むには

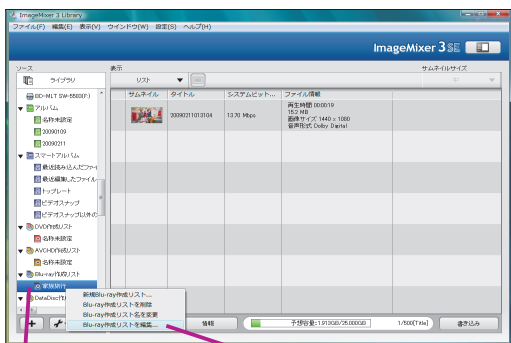
ブルーレイディスクへの書き込み

作成したBlu-ray作成リストを元に、実際に映像をブルーレイディスクに書き込んでみましょう。再生時に表示されるメニューも書き込み時に設定できます。

1 Blu-ray作成リストを確認する

レッスン10で作成したBlu-ray作成リストを確認する

レッスン10で作成したBlu-ray作成リストに追加した映像が表示され、確認できた



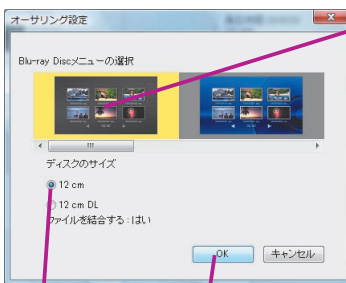
1 Blu-ray作成リストの家族旅行を右クリック

2 [Blu-ray作成リストを編集]をクリック

2 Blu-ray Discのメニューを選択する

[オーサリング設定] ダイアログボックスが表示された

あらかじめ用意されたメニューから選択する



1 メニューを選択

映像を書き込むメディアに合わせてディスクのサイズを選択する

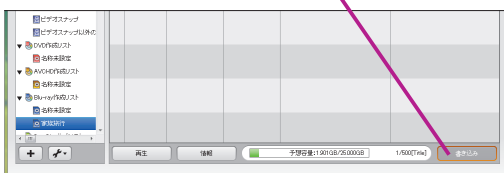
2 ディスクのサイズを選択

3 [OK]をクリック

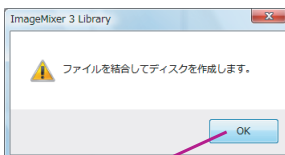
3 ブルーレイディスクの書き込みを開始する

Blu-ray Discのメニューを選択できた

1 [書き込み]をクリック



ファイルの結合にかんするダイアログボックスが表示された



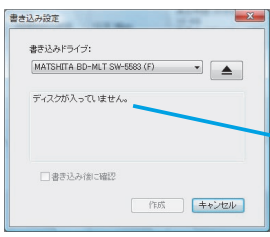
2 [OK]をクリック



ImageMixer 3 SEが対応しているブルーレイディスクのメディアは？

ImageMixer 3 SEが対応しているブルーレイディスクのメディアは、BD-R、BD-R DL、BD-RE、BD-RE DLの4種類となります。なお、パソコンに搭載されているドライブがブルーレイディスクの書き込みに対応していない場合は利用できませんが、市販のブルーレイディスクドライブを購入すれば利用することも可能です。

4 ドライブにブルーレイディスクのメディアをセットする



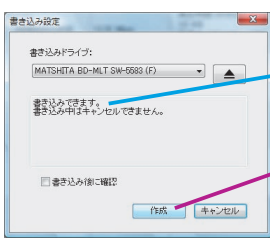
「書き込み設定」ダイアログボックスが表示された

ドライブにメディアがセットされていないため、「ディスクが入っていません」と表示される



ブルーレイディスクのメディアをセット

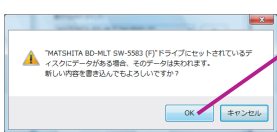
5 ブルーレイディスクに書き込む



ドライブにメディアがセットされると、「書き込みできます」と表示される

① [作成] をクリック

ドライブにセットしたメディアについてのダイアログボックスが表示された



② [OK] をクリック

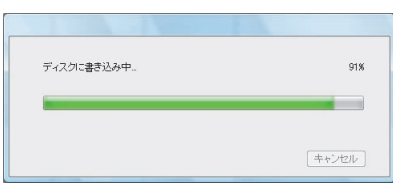
HINT! DataDisc形式でDVDに保存した映像を再生するには

DataDisc形式でDVDに保存した映像を再生するには、アイビスに付属している「ImageMixer 3 SE Player Ver.3」という再生ソフトが必要になります。ソフトウェアがインストールされていないパソコンでは映像を再生することができませんので注意が必要です。

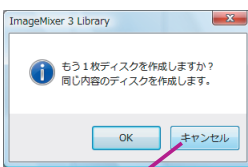
6 ブルーレイディスクの書き込みが開始された

ブルーレイディスクの書き込みがはじまった

書き込みが完了するまでしばらく待つ



同じ内容のブルーレイディスクを作るかどうかを確認する画面が表示された



ここでは1枚だけブルーレイディスクを作成する

[キャンセル] をクリック

同じ内容のブルーレイディスクを複製するときは[OK]をクリックする

⚠ 間違った場合は?

書き込む映像やメニューを間違えてしまったときは、手順4で [キャンセル] をクリックして設定をやり直しましょう。

Point 美しい映像をそのまま保存できる

ブルーレイディスクの特徴は何とんでもその容量の大きさです。BD-RやBD-REで25GB、BD-R DLやBD-RE DLでは50GBもの容量のデータを保存することができます。このため、データ容量が大きくなりがちなMXPモードのような高画質モードで撮影した映像でもBD-R

なら約2時間分を1枚のディスクに納めることができます。パソコンに対応ドライブが搭載されている必要があるうえ、再生環境も対応パソコンもしくはブルーレイディスクプレーヤーと限られますが、映像の美しさを損なうことなく保存できるのがメリットです。

映像を iPod や ブログで楽しむには ファイルの書き出し

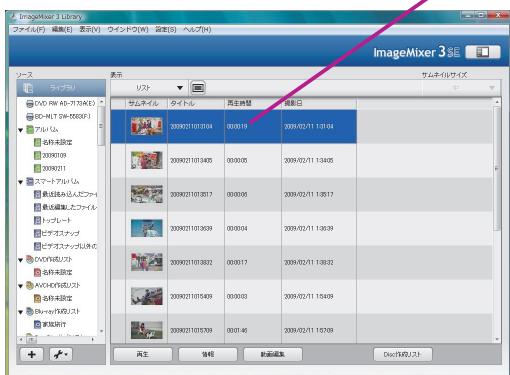
パソコンやDVDだけでなく、映像をもっといろいろな方法で楽しんでみましょう。ここでは映像をiPodなどの携帯プレーヤーやブログで楽しむ方法を紹介しします。

1 ファイルに書き出す 映像ファイルを選択する

ここではレッスン①でパソコンに取り込んだ映像をファイルとして書き出す

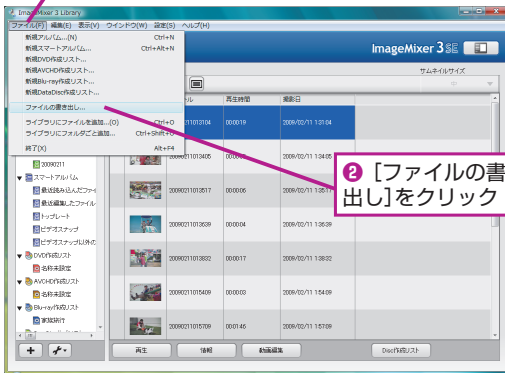
レッスン①を参考にImageMixer 3 Libraryを表示しておく

書き出したいファイルをクリック



2 [ファイルの書き出し] 画面を表示する

① [ファイル] をクリック



② [ファイルの書き出し] をクリック

3 書き出すファイルを設定する

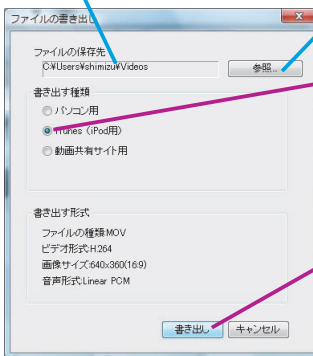
注意 iPod向けに書き出す場合は、事前にiTunesをインストールしておく必要があります

[ファイルの書き出し] 画面が表示された

ここではiPodで見られる形式のファイルで書き出す

[ファイルの保存先] にファイルの保存先が表示される

[参照] をクリックすると保存先を変更できる



① [iTunes (iPod用)] をクリック

② [書き出し] をクリック



! HINT! ! iTunesをインストールしておこう

映像をiPod向けに書き出すには、Apple社が提供する音楽ソフト「iTunes」が必要です。無償で利用できますので、あらかじめインターネットからダウンロードしてインストールしておきましょう。

▼ iPod + iTunes の Web サイト
<http://www.apple.com/jp/itunes/>



! HINT! ! 書き出したファイルをiPodに転送できるようにするには

このレッスンで書き出した映像ファイルは、iPodに対応した形式のファイル（ファイル形式MOV、ビデオ形式H.264、サイズ640×360ドット）となります。このファイルをiPodで再生したいときは、iTunesのライブラリに映像ファイルを追加してから、パソコンに接続したiPodに転送します。



間違った場合は？

手順3でファイルの種類を間違えてしまったときは、手順4で [キャンセル] ボタンをクリックし、もう一度、操作をやり直します。



素敵な映像を撮影したらビデオポッドキャストサービスを利用しよう

撮影した映像をほかの人に見てもらいたいときは、「ビデオポッドキャストサービス」を利用するとよいでしょう。ビデオポッドキャストサービスは、「CANON iMAGE GATEWAY」というキャノン製品ユーザー向けのオンラインフォトサービスで提供されている映像配信サービスです。アイビスで撮影した映像を投稿すると、インターネットを介して映像が配信され、家族や友人などがiTunes経由でその映像を再生して楽しめます。配信した映像はiPodなどでも楽しめるので、いつでもどこでも楽しめます。

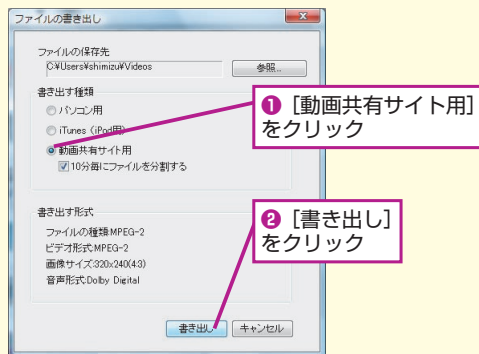


▼ビデオポッドキャストサービス
<http://www.imagegateway.net/demo/vidopodcast.html>



動画共有サイト向けにファイルを書き出すこともできる

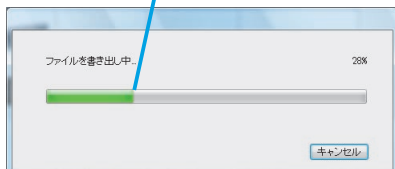
YouTubeなどのインターネット上の動画共有サイトに映像を投稿したいときは、手順3で「動画共有サイト用」を選択してファイルを書き出しましょう。ただし、利用できる形式や映像の長さなどは動画共有サイトによって異なります。ImageMixer 3 SEで作成されるファイルは、MPEG-2形式の320×240ドットの映像となり、10分ごとにファイルを分割することができますので、利用するサイトの条件を確認して設定しましょう。



4 ファイルの書き出しが開始された

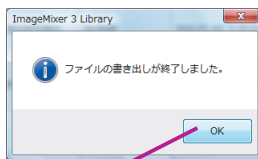
ここに進行状況が表示される

書き出しが完了するまでしばらく待つ



5 ファイルの書き出しが完了した

ファイルの書き出しが完了すると、「ファイルの書き出しが終了しました」と表示される



[OK]をクリック

iTunesを起動して書き出したファイルを再生し確認しておく



Point いろいろな用途の映像をかんたんに作れる

ImageMixer 3 SEを利用すると、パソコンやDVD用の映像だけでなく、iPod用や動画共有サイト用の映像を手軽に作れます。これまで、こういった映像の作成には細かな設定や変換のソフトが必要でしたが、ImageMixer 3 SEなら、あらかじめ用意された設定を選択す

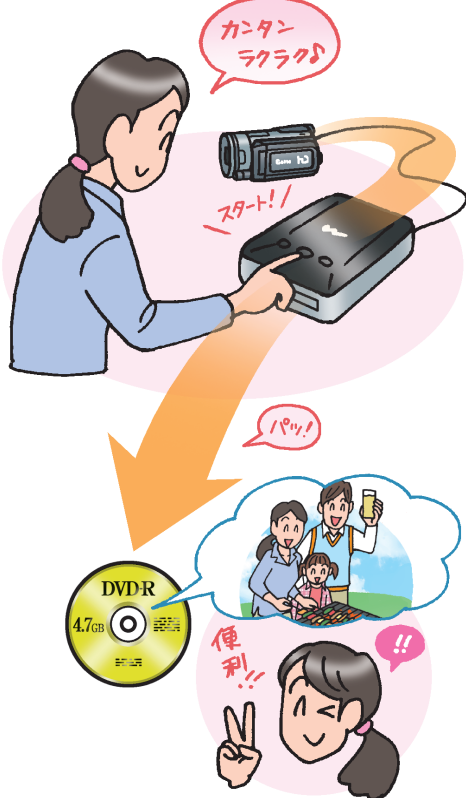
るだけとかんたんです。iPodに入れて映像を持ち歩いたり、動画共有サイトで公開したり、自分のブログに貼り付けてほかの人に見せたりと、映像をさらに楽しんでみましょう。ただし、作成に時間がかかりますので、最初は短い映像から試してみるとよいでしょう。

付録 パソコンを使わずにDVDやブルーレイディスクに保存するには

撮影した映像をDVDやブルーレイディスクに保存したいときは、別売りのDVDライターや市販のブルーレイディスクレコーダーを使うと便利です。パソコンを使わなくても、アイビスで撮影した映像を手軽に保存することができます。DVDライターとブルーレイディスクレコーダーのそれぞれの方法について紹介します。

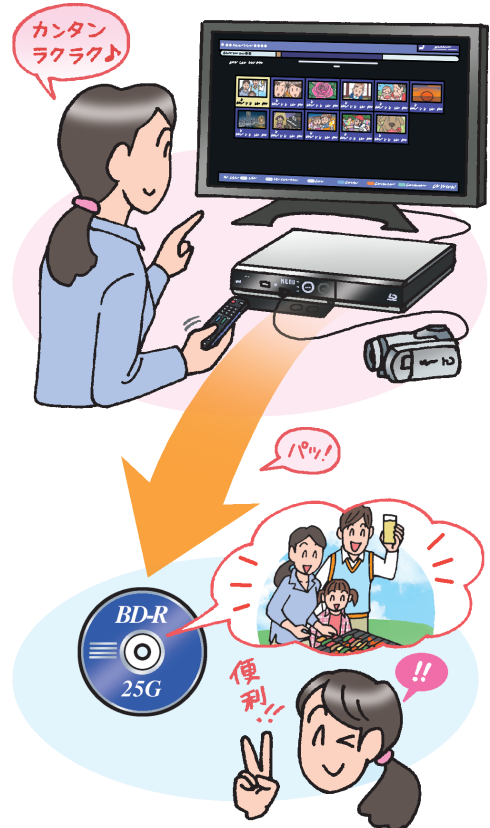
DVD への保存

別売りのDVDライターを利用すると、アイビスとDVDライターをつないで簡単な操作をするだけで、撮影した映像をDVDに記録することができます。パソコンを使わなくても済むうえ、簡単な操作をするだけで、すべておまかせでDVDができあがりますので、はじめてでも安心してDVDを作れます。



ブルーレイディスクレコーダーへの保存

市販のブルーレイディスクレコーダーを利用している場合は、ブルーレイディスクレコーダーにアイビスの映像を保存することができます。テレビの画面を見ながらリモコンで操作するだけで、ハードディスクに映像を取り込んだり、ブルーレイディスクに映像を書き込んだりできます。



フォトDVDも作成できる

DVDライターを使うと、映像だけでなく、静止画もDVDに記録することができます。アイビスで撮影した静止画を保管したり、ほかの人に渡したりする場合などにも活用するとよいでしょう。



間違った場合は?

手順4でDVDライターの電源が入らないときは、ACアダプターとDVDライターのDC IN端子がきちんと接続されているか、もう一度確かめましょう。



MXPモードで記録した映像はブルーレイディスクに保存する

アイビスでMXPモード（24Mbps）で撮影した映像は、DVDライターを使ってDVDに保存することはできません。ブルーレイディスクレコーダーを利用するか、パソコンに取り込んで、ImageMixer 3 SEを使ってブルーレイディスクに保存しましょう。



AVCHD規格のDVDディスクが作成される

DVDライターを使って記録したDVDは、AVCHDという規格のDVDとなります。このため、作成したDVDを再生するには、AVCHDに対応したDVDレコーダーやブルーレイレコーダーなどが必要になります。もしも、一般的なDVDプレーヤーで再生できるDVDを作成したいときは、レッスン⑨以降で紹介するImageMixer 3 SEを利用し、パソコンでDVDを作成します。

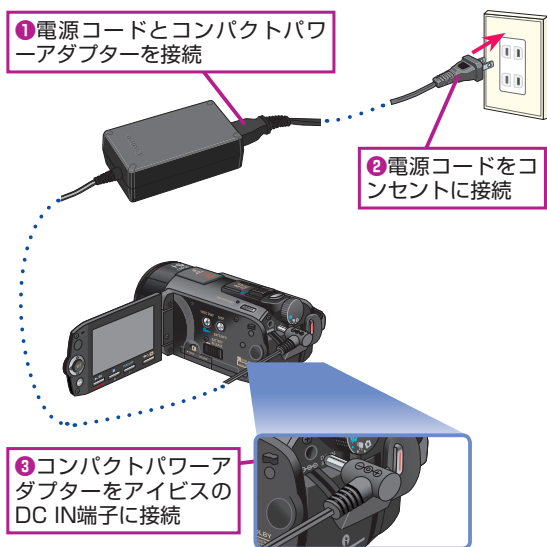
アイビスからDVDライターを使ってDVDに保存するには

1 アイビスとコンパクトパワーアダプターを接続する

① 電源コードとコンパクトパワーアダプターを接続

② 電源コードをコンセントに接続

③ コンパクトパワーアダプターをアイビスのDC IN端子に接続



2 アイビスを動画再生モードにする

アイビスの電源をオンにしておく

撮る/見るボタンを押す



撮影した動画のインデックス画面が表示される

3 DVDライターとACアダプターを接続する

① 電源コードとACアダプターを接続

② 電源コードをコンセントに接続

◆ DVDライター (DW-100)

③ ACアダプターをDVDライターのDC IN端子に接続



4 DVDライターの電源を入れる

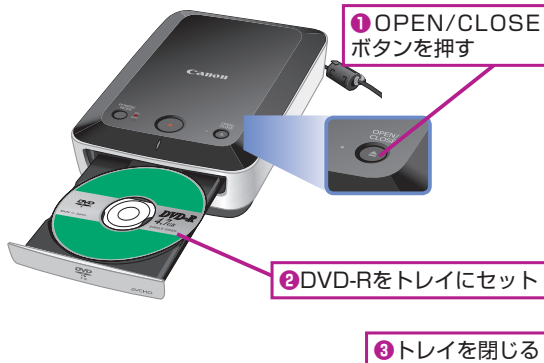
POWER/MODEボタンを押す

RECランプが赤く点灯していることを確認する



次のページに続く

5 DVDライターにDVD-Rをセットする

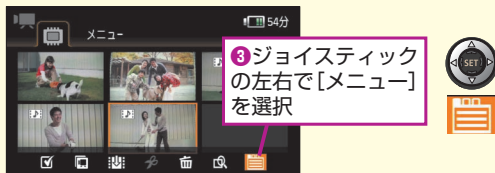


プレイリストに追加した映像だけをDVDに記録したいときは

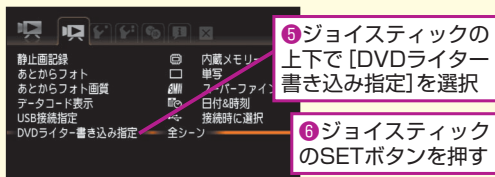
撮影した映像のすべてを保存するのではなく、プレイリストに追加したシーンだけを保存したい場合は、あらかじめ [DVDライター書き込み指定] の設定が必要です。以下を参考に、アイビスをDVDライターに接続する前に、設定しておきましょう。

1 アイビスを動画再生モードにしておく

2 FUNC. ボタンを押す

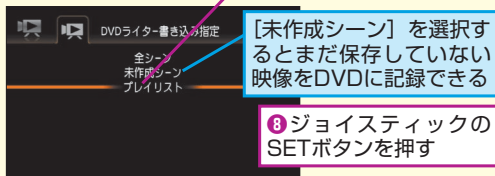


4 ジョイスティックのSETボタンを押す



[DVDライター書き込み指定] が表示された

7 ジョイスティックの上下で [プレイリスト] を選択



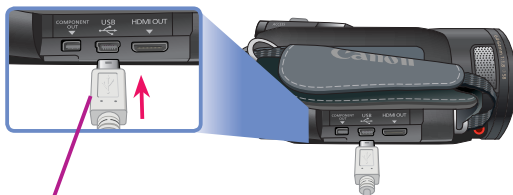
[未作成シーン] を選択するとまだ保存していない映像をDVDに記録できる

8 ジョイスティックのSETボタンを押す

6 DVDライターとアイビスを接続する

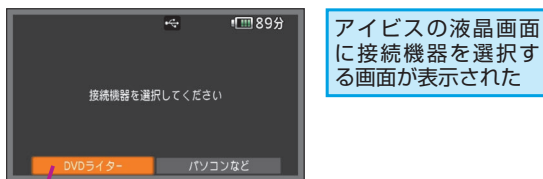


1 DVDライターのUSB端子にUSBケーブルを接続



2 アイビスのUSB端子に、DVDライターと接続したUSBケーブルを接続

7 アイビスの接続先をDVDライターに切り換える



アイビスの液晶画面に接続機器を選択する画面が表示された

1 ジョイスティックの左右で [DVDライター] を選択

2 ジョイスティックのSETボタンを押す



間違った場合は?

間違っ使用済みのディスクをDVDライターにセットしてしまった場合、手順8で、「未使用のディスクを入れてください」というメッセージが表示されます。未使用の新しいディスクをセットして、もう一度、手順8から操作をやり直しましょう。



DVDライターが対応しているメディアは

本書で紹介しているDVDライター（DW-100）は、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RWの3種類のメディアに対応しています。DVD-RAMやDVD+R、ブルーレイディスクなどには対応していませんので、映像を保存することはできません。

8 DVD-R への書き込みを開始する



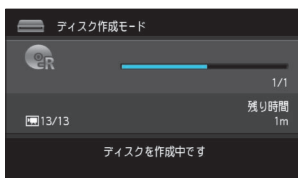
アイビスの液晶画面に【ディスク作成モード】が表示された



スタートボタンを押す

ここではアイビスに保存されたすべての映像をDVD-Rに書き込む

9 DVD-R への書き込みが開始された



書き込みの進捗状況がアイビスの液晶画面に表示された

書き込みが完了するまでしばらく待つ

書き込みが完了すると、アイビスの液晶画面に【終了しました】と表示される

注意 DVDライターで作成したディスクはAVCHDディスクですので、AVCHDに対応していないDVDプレーヤーなどの機器には、ディスクを入れなくて下さい。ディスクが取り出せなくなる場合があります。



アイビスでもAVCHDディスクが再生できる

DVDライターは、作成したDVDの再生用として利用することもできます。DVDライターをアイビスに接続した状態で、家庭用のテレビにアイビスを接続すれば、DVDライターにセットしたAVCHDのディスクをテレビで再生することができます。

あらかじめアイビスとDVDライターを接続し、映像が保存されたDVDをセットしておく



1 POWER / MODEボタンを押す

PLAYランプが緑色に点灯した

セットしたDVDに保存された映像がアイビスの液晶画面に表示された



2 ジョイスティックの上下左右で再生したい映像を選択

3 ジョイスティックのSETボタンを押す



選択した映像が再生された

アイビスから映像をブルーレイディスクレコーダーに取り込むには

アイビスで撮影した映像を市販のブルーレイディスクレコーダーに取り込んでみましょう。実際の取り込み方法は利用するブルーレイディスクレコーダーの機種によって異なる場合

がありますが、アイビスを接続するときの操作は共通となります。接続機器の選択画面で「パソコンなど」を選択して映像をブルーレイディスクレコーダーに取り込みましょう。

1 ブルーレイディスクレコーダーの電源を入れる

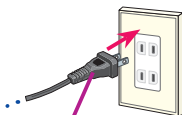
33ページのHINT!のを参考にブルーレイディスクレコーダーがアイビスとの接続に対応しているか確認しておく



あらかじめブルーレイディスクレコーダーとテレビの電源を入れておく

2 アイビスとコンパクトパワーアダプターを接続する

1 電源コードとコンパクトパワーアダプターを接続



2 電源コードをコンセントに接続

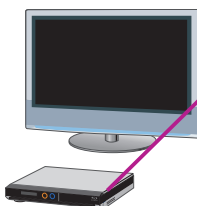


3 コンパクトパワーアダプターをアイビスのDC IN端子に接続



3 アイビスとブルーレイディスクレコーダーを接続する

1 USBケーブルをブルーレイディスクレコーダーのUSBポートに接続

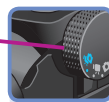


2 アイビスのUSB接続端子に、USBケーブルを接続



4 アイビスの電源をオンにする

1 POWER (電源) スイッチを押す



POWERランプが緑色に点灯し、アイビスの電源がオンになった

2 (撮る/見る) ボタンを押す





ハードディスクに保存して再生することもできる

利用するブルーレイディスクレコーダーによっては、アイビスで撮影した映像をハードディスクに保存することもできます。ハードディスクに取り込んでおけば、家庭用のテレビでいつでも気軽に映像を楽しむことができます。ブルーレイディスクに保存するためだけでなく、映像の保管場所や再生環境としてもブルーレイディスクレコーダーを活用すると便利でしょう。



対応しているレコーダーは？

アイビスで撮影した映像を取り込むには、アイビスに対応したブルーレイディスクレコーダーが必要になります。以下の対応製品情報ページで対応機種を確認しましょう。なお、操作方法は機種によって異なります。たとえば、映像を直接ブルーレイディスクに保存できる機種もあれば、一旦、ハードディスクに取り込んでから書き込みの操作が必要な機種もあります。詳細については、ブルーレイディスクレコーダーの取扱説明書を参照してください。

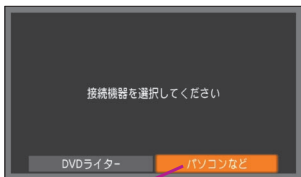
▼他社機器 動作確認一覧のページ

<http://cweb.canon.jp/e-support/products/dvcam/operation.html>

5

パソコンなどを選択する

アイビスの液晶画面に接続機器を選択する画面が表示された



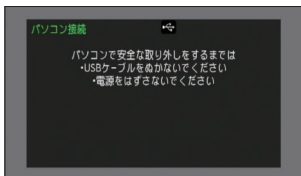
① ジョイスティックの左右で「パソコンなど」を選択

② ジョイスティックのSETボタンを押す

6

接続（警告）画面が表示される

アイビスの液晶画面に接続完了と警告画面が表示された



注意 ブルーレイディスクレコーダーに接続しているときは、映像が消えてしまう可能性があるため、カードカバーをあけたり、カードやケーブルを抜き差ししたりしないようにします。

7

ブルーレイディスクレコーダーにダビングする

ブルーレイディスクレコーダーでダビングの操作をする

① ブルーレイディスクのメディアをセット



② ブルーレイディスクレコーダーでダビング操作をする

■著者

清水理史（しみずまさし）shimizu@shimiz.org

1971年東京都出身。外資系企業のシステム管理者を経て、1997年にフリーライターとして独立。雑誌やWeb媒体を中心にOSやネットワーク、ブロードバンド関連の記事を数多く執筆。『BroadBand Watch』にて、ブロードバンド関連の話題を扱う『イニシャルB』を連載中。おもな著書に『できる PRO Windows Server 2008』、『できるインターネット&メールの「困った!」に答える本 Windows XP SP2 対応』、『できる Xbox 360 公式ガイド』、『できるパソコンのお引っ越し』、『できる Windows Vista』、『できる PRO BlackBerry サーバー構築』（インプレスジャパン）などがある。

できるアイビス iVIS HF S11 撮影&映像編集スタートガイド（以下、本書）は、キャノンマーケティングジャパン株式会社から株式会社インプレスジャパンが委託を受けて制作した特別版です。本書は無償で提供されるものであり、本書の使用または使用不能により生じたお客様の損害に対しキャノンマーケティングジャパン株式会社、株式会社インプレスジャパンならびに著者は一切の責任を負いかねます。また、本書に関するお問い合わせはお受けしていません。あらかじめご了承ください。

できるアイビス

iVIS HF S11 撮影&映像編集スタートガイド

編集……………できるシリーズ編集部
執筆……………清水理史
協力……………キャノンマーケティングジャパン株式会社
イメージイラスト……………廣島 潤
テクニカルイラスト……………福地祐子
シリーズロゴデザイン……………山岡デザイン事務所
カバーデザイン……………ON Design / 中島信浩・泉かほり

Copyright © 2009 Masashi Shimizu and Impress Japan Corporation. All rights reserved.

2009年8月発行

本書の内容はすべて、著作権法によって保護されています。著者および発行者の許可を得ず、転載、複写、複製等の利用はできません。

発行 株式会社インプレスジャパン An Impress Group Company
〒102-0075 東京都千代田区三番町 20

「できるサポート」では、本書に関するお問い合わせにはお答えしていません。あらかじめご了承ください。

できるシリーズ



もっと使いこなしたいあなたに

できるWindows Vista



法林岳之・一ヶ谷兼乃・清水理史&
できるシリーズ編集部
定価**1,344円**(本体**1,280円**+税)
デジカメもIE7も検索も、新しい
Windowsが分かる!

商品番号 **2350**

できるWindows Vista



SP1対応 完全活用編

清水理史&できるシリーズ編集部
定価**1,659円**(本体**1,580円**+税)
USBメモリーを使ってパソコンを高
速化するなど、使いこなしワザが満載。

商品番号 **2572**

できる大事典 Windows Vista



Home Premium/
Home Basic/
Business

商品番号
2371

羽山博・吉川明広・松村誠一郎&できるシリーズ編集部
定価**3,129円**(本体**2,980円**+税)

Vistaの魅力&全機能、総力解説。豊富
な操作画面と解説ですぐ理解できる!

できる Windows XP SP3&SP2対応 基本編完全版



商品番号
2672

法林岳之・一ヶ谷兼乃・清水理史&できるシリーズ編集部
定価**1,344円**(本体**1,280円**+税)

マウスの使い方や文字の入力、ネットやメー
ル、写真、音楽など、使いこなしが満載!

できる大事典 Windows XP SP3&SP2対応 Professional/Home Edition



Professional/
Home Edition

商品番号
2640

羽山博・吉川明広・松村誠一郎・島羽美奈子&できるシリーズ編集部
定価**3,129円**(本体**2,980円**+税)

Windows XP SP3&SP2の全機能を徹
底解説! 最新版を使いこなすワザが満載!

できるデジカメ デジタル写真徹底活用術 Windows Vista/XP対応

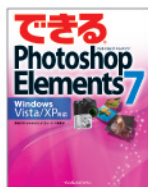


商品番号
2589

山田祥平&できるシリーズ編集部
定価**1,659円**(本体**1,580円**+税)

写真の活用方法とアルバムや動画作
成などの楽しみ方が満載!

できるPhotoshop Elements 7 Windows Vista/XP対応



商品番号
2646

須和方博・かわせかよこ&できるシリーズ編集部
定価**1,764円**(本体**1,680円**+税)

肌色の補正やピンぼけの調整など、写
真が見ええるテクニックが満載!

できるホームページビルダー13 Windows Vista/XP対応



商品番号
2648

広野忠敏&できるシリーズ編集部
定価**1,575円**(本体**1,500円**+税)

文字や写真、表を使った見栄えのいい
ページ作成の方法を丁寧に解説。

できるポケット iPhone iPhone/iPod touch対応



商品番号
2632

林信行・田中拓也&できるシリーズ編集部
定価**1,260円**(本体**1,200円**+税)

iPhoneの基本&活用テクニックを解説。
オンオフでiPhoneを使いこなしたい方に。

できるポケット iPhoto&iMovieで写真と動画を見る・遊ぶ・共有する本 iLife'08対応



商品番号
2503

松村太郎&できるシリーズ編集部
定価**1,260円**(本体**1,200円**+税)

iPhoto&iMovieで写真と動画の新しい
魅力を発見しよう!

携帯電話からも
購入できます

- ① ipc@morder.jpへ空メール(件名、本文なしのメール)を送る。
※ドメイン指定受信を設定していると全ての確認メールが届きません。その場合は必ずmorder.jpを追加してください。
- ② 折り返し届く注文サイトURLにアクセス、手順に従い広告に掲載されている商品番号を入力してください。



できるシリーズもすぐ買える!

版元直販サイト インプレスジャパンダイレクト

<http://direct.ips.co.jp/ij/>

読者会員制度と出版関連サービスのご案内

登録カンタン
費用も無料!



今すぐアクセス! club.impress.co.jp

お問い合わせ・ご注文は・・・インプレスカスタマーセンター

Tel: 03-5213-9295 Fax: 03-5275-2443 E-mail: info@impress.co.jp

発行/インプレスジャパン An Impress Group Company 発売/インプレスコミュニケーションズ An Impress Group Company

画面で見せる入門書の**元祖**です

できるシリーズは、画面で見せる入門書の**元祖**です。
見開き完結のレッスンを基本とし、レッスン1から順を追って
進めていくことで、**カンタン**なことから始められます。
また、レッスンを進めるにしたがって、必要な知識が**身につく**構成に
なっています。できるシリーズなら、**はじめて**の人でも**安心**です。

- ▶ オールカラーの紙面でわかりやすく解説
- ▶ レッスン単位でステップアップ学習できる
- ▶ 各レッスンごとに重要ポイントを掲載
- ▶ 関連知識をヒント形式で解説